

- 主な記事
 - 02 与謝野の三大祭
 - 13 有線テレビ番組ガイド
 - 14 町職員配置一覧
- 今月の表紙
 - 与謝の担い屋台 (4月25日撮影)

作品の前に、「頭の中がスベスベしている朝」にフレスコ画な線を描く」と語る中上さん



画家 中上幸典さん

一念発起。芸術の道へ。

油絵画・アクリル画・鉛筆画・水墨画など、「線を生かしたシンプルな絵」を展示した「中上幸典作品展」が4月25日から5月30日まで、ぎやらりい知遊館で行われ、来場者はその世界観に魅了された。

この個展を開いたのは、香河出身の画家、中上幸典さん。今回の個展では、高校、大学

時代の卒業制作である絵画を彫刻も展示され、ルーツをうかがうことのできる内容となった。中上さんが絵に興味を持ったのは、小中学生の頃、香河の慈雲寺の印尚に水墨画などの資料を読み受けたことにさかのぼる。そこに描かれた風景やさまざまな世界に引かれていった。

また時を同じくして、同じ香河に住み、仏画を制作する有松孝雄さんと出会い、アトリエに出入りするようになった。

そんな日々から、おのずと進路は芸術の道を選ばせることになった。

筑波大学では、これまでやってきた絵ではなく、後の作風に影響を与える

ことになる彫刻を専攻。卒業後は4年間、東京でアルバイトをしながら絵を描く日々を送った。しかし、芸術家への道は開けず、東京から京都に移し、会社員として4年間働いた。そんな中上さんの心の奥底から沸き起こってくるのは、絵に対する熱い思いだった。

「週に一回描けるかどうかの生活。趣味でも、と思う時間もあったが、やりたいことをやる」という思いが爆発した。

昨年会社を退職し、これまで描きためていた絵を展示・販売する個人ギャラリーを京都市内で主宰。そこに偶然立ち寄ったのが、水墨画家で京都造形芸術大講師の塩見賢彦さん(上山田出身。2月号「よさの人」だった。ギャラリー終了後、作品を気に入った塩見さんから声をかけられ、同大学に出入りするようになり、今年4月からは講師を務めることになった。

その題材は「人物画」。これは自身の作品テーマでもある。「顔には、目・鼻・口と決まっ

た素材しかない。それらを使っでここまで表現できるか。その表現を模索し、挑戦している」

そして、その手法として最も大切にしているのが、輪郭を描き出す「線」だ。彫刻を学んだからこそ、線へのこだわりが生まれたと語る。

「彫刻は、そこにあるだけで力強さや存在感を放ち、どこから見ても美しいシルエットを持つ。その力強さや輪郭線の美しさを平面で表現したい」

一念発起して再び芸術の世界に足を進め入れた中上さん。その信念を尋ねると、「芸術は上手い下手ではない。道を聞くの、思、続けること」と答える。

思いをかたちにしてきたその繊細な線は、今後、作品とともに新たな夢を描き出していききたいと語る。

ながみ・ゆきひろ

●塩見賢彦生まれ、香河出身。京都府立香河高等学校卒業。京都造形芸術大学で造形学を専攻。卒業後は香河に帰郷し、現在は京都市で個人ギャラリーを主宰。現在、京都市立芸術大学講師も務める。

■特集

与謝野の三大祭

写真で見る！

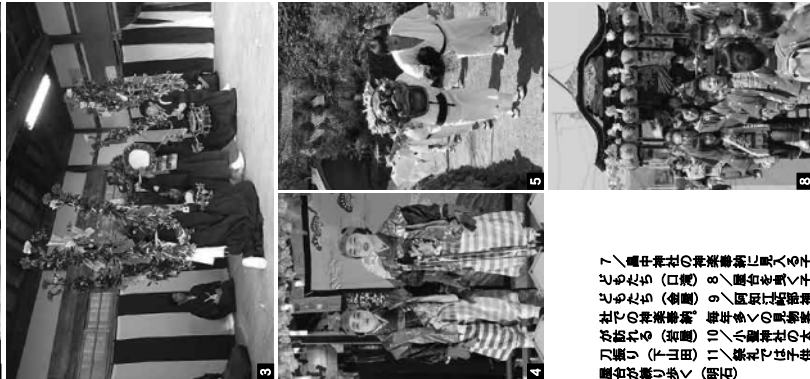
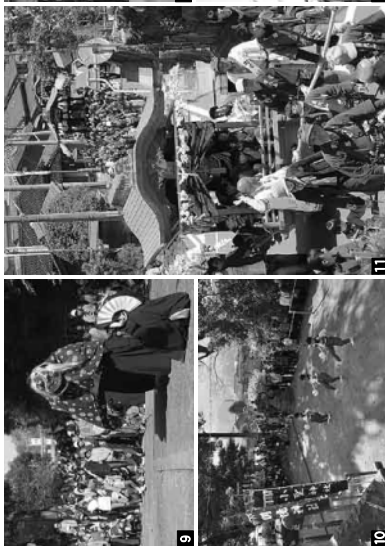
町内各地で行われた春の例祭。年に一度のこの日のために地域が一つになり、長期間にわたってうまわずたゆまず練習を積み重ね、地道に準備を進めてきました。そのかいあってか今年は好天に恵まれ、まちは祭一色となり、みんなの元気で満ちあふれていました。

神輿や神楽にぎやかに 加悦谷祭

4月24日・25日

1／糸川神社に奉納された大刀祭り
(上・山田) 2／美田神社の神楽(美田)
3／大和神社の神楽 4／美田神社に奉納された
大和神社の神楽(美田) 5／糸川神社
の神楽(美田) 6／美田神社
の神楽(美田)

12／大和神社の大刀祭り(美田)
13／美田神社の「まな
のこ」(美田) 14／美田神社に奉納された
大和神社の神楽(美田) 15／美田神社に
奉納された大和神社の神楽(美田) 16／美田神社
に奉納された大和神社の神楽(美田) 17／美田神社
に奉納された大和神社の神楽(美田)



7／美田神社に奉納された大和神社の神楽(美田)
8／美田神社に奉納された大和神社の神楽(美田)
9／美田神社に奉納された大和神社の神楽(美田)
10／美田神社に奉納された大和神社の神楽(美田)
11／美田神社に奉納された大和神社の神楽(美田)



多くの人出でにぎわった

三河内曳山祭

5月3日・4日

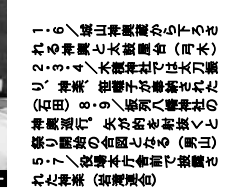
1／曳山の引き出し 2／「山主」の旗を掲げた山車（山車）
3／「山主」の旗を掲げた山車（山車）
4／「山主」の旗を掲げた山車（山車）
5／「山主」の旗を掲げた山車（山車）
6／「山主」の旗を掲げた山車（山車）
7／「山主」の旗を掲げた山車（山車）



みんなの笑顔が輝いた

岩滝祭

5月1日



1／「山主」の旗を掲げた山車（山車）
2／「山主」の旗を掲げた山車（山車）
3／「山主」の旗を掲げた山車（山車）
4／「山主」の旗を掲げた山車（山車）
5／「山主」の旗を掲げた山車（山車）
6／「山主」の旗を掲げた山車（山車）
7／「山主」の旗を掲げた山車（山車）



●春の叙勲

元校長の横濱聰さんが
瑞宝双光章(教育功労)を受章

「春の叙勲」がこのほど発表され、横濱聰さん(四辻)が瑞宝双光章を受章しました。

横濱さんは、昭和29年から平成4年までの約38年間、与謝管内の小中学校に勤務し、本庄中、加悦小の学校長などを歴任。本庄中では、へき地学校生徒の体力向上を目標に掲げ、与謝地方中学生駅伝大会で昭和61・62年と2連覇を達成し、府大会5位入賞、開校以来初の近畿大会へと導きました。また、与謝地方小学生駅伝大会の実現や加悦谷連合運動会の充実、発展に尽力するなど、児童生徒の体力向上に熱心に取り組みました。退職後も、四辻公民館主事として、地域の生涯学習、青少年健全育成のための各種講座を活発に開催し、地域コミュニティ活動の充実に取り組みました。

●環境保全型農業推進コンクール

与謝野町が優秀賞を受賞

有機農業などの環境保全型農業の発展に貢献している農業者や自治体を表彰し、その成果を広く紹介するとともに、環境保全型農業を拡大していくことを目的とする「第15回環境保全型農業推進コンクール」の表彰式が3月19日、京都市で開催されました。

このコンクールにおいて、有機質肥料「京の豆っこ」を使用した与謝野町の自然循環農業の取り組みが評価され、優秀賞(全国環境保全型農業推進会議会長賞)を受賞しました。与謝野町では今後も、環境にやさしい農業を推進し、自然循環農業と与謝野町の基幹産業として、さらなる発展を目指します。

豊かな農産物を生む加悦谷自然



●新緑の手仕事展

手仕事で作られた作品のぬくもりにふれる

与謝野町文化・工芸の里で活動している工房の手仕事の作品が一堂に集う「新緑の手仕事展」が5月22日と23日の両日、7つの工房と江山文庫で開催されました。

各工房では、創作家具をはじめ、草木染織、ジュエリー、ニット、トンボ玉、木工品などを展示。また江山文庫では、手織りのラグや裂織、革小物、アートフラワーなど、近隣市町の作家が手作りの作品が展示されました。

この手仕事展は、直接作家の皆さんと話をしたり、創作過程を聞いたりできるとあって、訪れた人たちは、手仕事ならではの作品のぬくもりにふれるとともに、作家との交流も深めていました。



センターハウス前で行われたランドアートフェスティバルの模様。美しい園を散歩していました。

●双峰まつり

心地よい風を受けて初夏の大江山を満喫

恒例の「双峰まつり」が5月4日、加悦双峰公園で開催され、たくさんのお客さんでにぎわいました。

この日は、半袖でも過ごせるくらいの温かさとなり、初夏の大江山を楽しむには絶好の天候に恵まれました。訪れた人たちは、バザーやビンゴゲームなどの楽しい催しと自然豊かな公園を満喫。新緑あふれる大江山を背にウインドオーケストラと謝による吹奏楽の演奏も行われ、美しい園が一緒に響き渡っていました。また、ゴールデンウィーク期間中は、赤石山頂まで上がるモノレーターも運行され、眼下の景色を楽しむ人の姿も見られました。

まちの話題 お届けします

田植えの様子(左)と田植えの様子(右)



●桑畑保育園田植え

楽しい田植えを体験したよ！

桑畑保育園の年長児22人が5月21日、西村尚樹さん(明石)の田んぼでもち米の田植えを行いました。

全員はだしになって田んぼに足を踏み入れた園児らは、西村さんから苗の植え方を教えてもらった後、「せっせのせ、せっせのせ、おいしいお餅ができるよに、せっせのせ、せっせのせ」と、田植え歌を歌いながらいねいに苗を植えていきました。手も足も、中にはお尻まで泥だらけになりながら、初体験の田植えを楽しんでいました。

今後は、大きく育っていく様子を観察したり、稲刈りの様子も見学する予定で、最後は収穫したもち米を使って餅つきをします。

水田ローによる水代かきの実演の様子



●浅水代かき実演会

環境にやさしい米作りを進めています

農業排水に含まれるチッソやリンなどが阿蘇海・野田川に流れ込むことで、富栄養化し水質汚濁につながると言われており、その対策となる「浅水代かき」の実演会が5月7日、「環境にやさしい水稲栽培モデル集落」の後継地区で開催されました。

浅水代かきとは、田んぼに浅く水を張って代かきをすることで田植え前の落水を抑える作業方法。現在町内の水稲農家の約60%が実施しています。さらにこの取り組みを拡大しようと、昨年と一昨年に続き、与謝野町と京都府が主催して行われました。参加した農業関係者は、真剣な表情で阿蘇海の現状に耳を傾け、実演に見入っていました。

5月20日に教壇に

立った長慶寺健太郎さんは、さまざまな職に就いてきた経験がいろいろな場面で見られると語り、「やりたいうことを口に出していうと、それに近づける」と生徒たちにメッセージを送りました。授業を受けた生徒は「自分の世界が広がった」と話していました。



生徒に語りかける長慶寺健太郎さん

●加悦谷高校地域人授業

丹後在住の6人が生徒に熱い思いを語る

地域の人たちが加悦谷高校の教壇に立ち、「学ぶこと・働くこと・生きること」について生徒たちに語る「地域人授業」が、5月から6月にかけて行われています。

今年で3回目となるこの取り組み。三田真史さん(京都新聞社)、長慶寺健太郎さん・ズン子さん(向井酒造)、野田昭さん(ピオ・ラビット)、木村陽子さん(府立看護学校)、劉玉萍さん(中国語講師)の丹後地域で活躍する6人が講師を務めました。

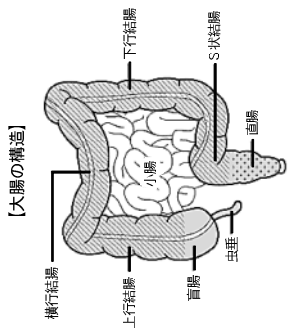
大腸のはたらき

大腸は、消化が行われた食物の最終処理をする消化管で、主に水分を吸収して便を排泄に適した状態にする場所です。

日本人は、特にS状結腸と直腸にがんがでやすいといわれています。

自覚症状がほとんど見られない大腸がん

罹患する原因として、動物性タンパク質の摂取増加による肥満が挙げられます。近年では、飲酒や喫煙



大腸がんは、女性に罹患するがんの第1位、男性に罹患するがんの第2位となっています。2020年には、日本人全体でも第1位になると予測されています。今回は、大腸がんとその予防について紹介します。

生活習慣改善とがん検診受診が予防方法

予防、早期発見するためには、大腸がん罹患する危険性の高い生活習慣を改善することと、がん検診の対象年齢になったら積極的に検診を受けることが大切です。

日本人に推奨できるがん予防法

- タバコは吸わない。他人のたばこの煙を可能な限り避ける。
- 適度な飲酒。飲めない人・飲まない人は無理には飲まない。
- タバコは吸わない。他人のたばこの煙を可能な限り避ける。
- 適度な飲酒。飲めない人・飲まない人は無理には飲まない。

発見が早かったのが、治りました!!

「町の検診で便潜血検査を受けたら、『精密検査が必要』との結果が出てびっくりしました。その後、内視鏡検査でがんが見つかりました。発見が早かったのが、治りました。検診を受けて本当によかったと実感しています」(70代女性)

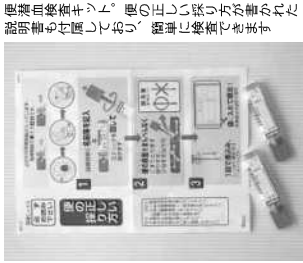


検診のご案内

8月から実施する町の集団検診で受診できます。既に通知している申込書にて事前に申し込んでください。

りません。それだけに毎年受診して健康状態を見ることが大切です。

大腸がんは早期発見・早期治療で90%以上が完治するといわれています。自分自身を守るために、ご家族のために、ぜひ年に一度はがん検診を受けましょう。



早期発見・早期治療のためがん検診を受けましょう

大腸がんは一般的には自覚症状はありません。従って無症状の時期に早期に発見し、治療することが重要になります。早期発見・治療のためには、がん検診の受診が有効です。

がん検診の有効性については、厚生労働省の研究班で検討され、整理されています。その中で大腸がん検診における「便潜血検査」も有効ながん検診であり、死亡を減少させる検査として認められています。しかも、2日間の便の表面をまんべんなくこすり、容器に入れて提出するだけの簡単な方法で受けられます。ただし、便潜血検査は完璧ではあ

- 食事はバランスよく摂る。
- 定期的な運動の継続。
- 太りすぎず、痩せすぎず、体重を維持する。

しかしながら、大変深刻な問題もあります。

第1分団は、今年も2人の新入団員が加わり、全15人の団員で楽しく、時に厳しく消防団活動を行っています。

勤誘に伺っても断られることも多く、団員のサラリーマン化などにより、平日屋間の火災時に出勤が困難な状況にあります。ですが、これから自治消防隊や石田区民の皆さんと連携して予防活動に取り組み、「火災ゼロの町」になるようにがんばっていききたいと思っています。

第2分団は、団員の不足等に伴い屋間の緊急活動が困難な状況になっています。入団当初は訓練などで楽しんで感じる時もありますが、それは時には家族を犠牲にする活動となりますが、その家族を守るのも私たちであり、

私たち若者が地域の安心安全を守っていかねばならないのです。

「誰かがやってくれるだろう」ではなく、「自分たちでなんとかしなければ!」との思いで、安心して住みよい町になるように一緒に楽しく活動しましょう。

町民の皆さんは、消防団が必要だと思いませんか?

第3分団は団員の半数以上が会社員となり、なかなか訓練にも参加できない団員もいます。しかし、サイレンが鳴ると仕事中でも夜中でも出動します。

それは守らなければならぬものがあるからです。

たしかにしんどい時もありますが、入団して後悔した団員は一人もいません。今一度、消防団の存在を皆さんに考えていただき、より一層理解していただければと思います。

第4分団は、みんな自分の仕事を持ちながら空いた時間で消防訓練などを行っています。現状では団員のサラリーマン化もあり、いざ有事の際に出動できる団員も少なくなっています。火災や災害は家族の命、友人の命、また財産までも奪います。それを

最小限に抑えたい

と思い、がんばっています。どうか消防団に対してご理解とご協力をお願いします。



第3回与謝野町消防団消防操法大会
日時：6月20日(日)午前8時～ 場所：野田川グラウンド

お知らせ

平成22年度全国統一防火標語「消したかな あなたを守る 合言葉」

与謝野町消防団は「自分たちの町は自分たちで守る」を合言葉に、さまざまな仕事や家庭環境の中、それぞれが責任と自覚を持ちながら日夜防災活動に励んでいます。消防団活動は、防災意識の向上や人間関係の広がり、地域活性化などにもつながり、とてもやりがいのある団体です。今月号では、岩瀬方面隊各分団の声をお伝えしますので、現状をご理解していただき、今後とも与謝野町消防団にご支援をお願いいたします。

日本文化といえは、(特別な順序はないですが) お寿司、お茶、温泉、お茶が挙げられます。お寿司屋さんでの食事は今年経験済みで、芸子さんや舞妓さんの踊りと演奏は京都府に留学していた時に観覧済みです。また、温泉については去年城崎温泉に行ったので経験済みです。ただ、お茶についてははいたい毎日飲んでいますが、せっかく京都府に住んでいるので、4月にお茶で有名な宇治へ行きました。

宇治は京都府内で2番目に大きな都市だと聞いたので、迷子にならないかと少し不安でしたが、思ったより道が分かりやすかったです。電車を降りてすぐ観光地図を手に入れ、昔ながらの商店街と宇治橋に向かいました。事前に同僚から宇治名産の茶だんごを食べるとよいと勧められていたので、元祖茶だんごのお店で抹茶といっしょにいただきました。日本文化が身染みついた気がします。

宇治には2日間滞在し、周りの風景を見たり、お店に入ったりしてゆっくりと町を歩きまわりました。日本語の文学研究として学生の時に源氏物語を読んだことがあったので、(もちろん英語版)、この機会を利用して源氏物語ミュージアムに行きました。書いてある日本語の説明が

難しくて分からなかったですが、絵がきれいでしたし、また平安貴族が使っていたお香の原料を実際に見て嗅ぐことができたので、大変楽しかったです。

この旅行で印象的なことが2つありました。1つ目はその美しさです。京都市に住んだことがあるので、ある程度お寺や神社、木造建築など日本独特の建物に慣れましたが、それにも関わらず宇治の風景に感動しました。中心部には車がほとんどなく、昔ながらの雰囲気、流れる川、緑の丘、赤い橋、自然の美しさに囲まれていて、散歩に良い所でした。

もう1つはお茶のお店が多すぎます。名物は茶葉なので、行く前に多くの所で売っていると想像していましたが、実際に行くとは想像より多くてびっくりしました。平等院お茶道に行ったら、さらに何軒もお茶のお店で抹茶だんごのお店で抹茶といっしょにいただきました。私も負けずに平等院参道の全部のお茶のお店に行ってお茶をいただきました。普通毎日飲んでいる物と違って香りが甘く、味も濃くて私はおいしいと思いました。主人には強すぎて口に合わないようでした。それでも、素晴らしい経験でいい思い出になったことを2人とも喜び合っ2日間でした。



元祖茶だんごのお店で抹茶といっしょにいただきました

時の贈り物 [第48回 ちりめん街道の寺町的景観 その1 宝蔵寺]

まちの文化財



ちりめん街道の最も南側に位置する寺院、宝蔵寺の全景

重要伝統的建造物群保存地区に指定されている宇治市は、その中でもちりめん街道の最も南にある寺院です。知恩院の末寺で浄土宗に属し、開基は慶長4年(1599)と伝えられています。その景観は、石段を上った山腹に寺地を構え、正面に楼門形式の山門、その奥に本堂が直線的に位置しています。本堂に上がって左に重々右に鐘楼があり、軒の現存の本堂は、入母屋造りで、文化15年(1818)に再建されたもので、大工の棟梁は富田清兵衛が務めました。山門は町指定文化財となっています。ちりめん街道の景観の一端に、今から1922〜180年前に形成され、時を越えて現在に伝わっていることが分かります。(宇治市教育委員会)

図書館へ行こう！

BOOKS

●今月のオススメの1冊

6月といえは...

6月は梅雨の季節、そして6月4日は語呂合わせに由来した「虫歯予防デー」。今回は6月にまつわる1冊を紹介するので、雨の日には読書にふけてみては？

『雨の名前』

高橋朋子(文) 佐藤賢明(写真) / 小学館



「雨の日はじめめしたいのがこの本。青という人におすすめたのがこの本。青花雨、秋雨、細精霊雨、風花など422名の美しい雨の写真を詩、エッセイとともに紹介しています。雨の名前がこれだけたくさんあるのは、日本人の生活と雨が切り離せないものであることを表しています。」



『ぼくはオニじゃない!!』

岩田尚輝 / 童心社

主人公のまさはるは、幼稚園の歯の検診で、模から生えてきたよけいな歯を抜くように言われてしまいます。友達から、その歯は「オニバ」で、抜かないとオニのキバ(ひた)になる、と教えられる。歯医者にいくのもオニになるのも嫌だ、という不安な気持ちでユーモアあふれる絵で描かれています。

【一般書】 ●『ゲゲゲの娘、レレレの娘、ららの娘』水木悦子 / 文藝春秋 ●『サクサク現代史!』青木裕史 / メディアファクトリー ●『千の風になつて』紙袋に書かれた詩 井上勝 / ポプラ社 ●『ほんわか介護』城戸真亜子 / 集英社 ●『子育てウツからスリリと抜け出す 100のコツ』主婦の友社 (編) / 主婦の友社 ●『もしも高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら』岩崎夏海 / ダイワ出版 ●『ぼくは坊さん』白川麗成 / ミシマ社 ●『桐島、部活やめるってよ』朝井リョウ / 集英社 ●『戦場のアフリカを犬と歩く』ローリー・スチュワート / 白水社 ●『13歳の進路』村上電 / 幻冬舎 ●『できるスポーツテクニック 1 野球 ビッチング・守備』後藤義彦 / ポプラ社 ●『木の音が聞こえますか?』池田まき子 / 岩崎書店 ●『子どもと楽しむ行事と遊びの絵本』すこあさ(文) / さいとうしのぶ(絵) / 絵本屋 ●『絵でわかる「語源」』丹羽哲也 / PHP 研究所 ●『リリス』草野たけ / ポプラ社 ●『びんの悪魔』RL スティープンソン / 福音館書店 ●『怒たま乱太郎』なぞのラブレターの段 / 尼子龍兵衛 / ポプラ社 ●『ようちえんのはる・なつ・あき・ふゆ』おかしゅうぞう / 佼成出版会 ●『みんなで! どうこう!』竹下文子(作) 鈴木まもる(絵) / 佼成出版会

今月の新着図書

Topics

「マザー・グースの会」が受賞しました

平成11年5月に発足して以来、小学校や保育所、学童保育などで読み聞かせ活動に取り組んできたマザー・グースの会(新由雪江代表・会員16人)。合併後は、野田川分室での「おはなし会」をはじめ、町全域の各地域公民館に活動範囲を広げており、与謝野町子どもたちの読書推進の大きな原動力となっています。今回この功績が評価され、表彰されました。



代表の由雪江さんと表彰状を授けられました

Info

図書館おはなし会

<本館> 「七夕おはなし会」 7月3日(土) 14時〜
※要申し込み、図書館まで。
<野田川> 6月19日(土) 15時〜
「七夕おはなし会」 7月3日(土) 14時〜
<加悦> 6月12日(土)、7月10日(土) 15時〜
.....

本の展示棚を作ってみませんか?

本をもっと身近に感じてもらうと、次のとおり本の展示棚作り講習会を行います。ぜひご参加ください。
【日時】 6月26日(土) 13時30分〜16時
【場所】 生涯学習センター 知徳館
【対象】 小学校高学年以上の町民 30名程度
【講師】 山中純治氏 (ダンボール面展合考案者・フリーライター・奈良市在住)
【材料費】 1個あたり500円(当日徴収)
【申込方法】 6月20日(日)までに、図書館へお申し込みください。

●問い合わせ先 / 与謝野町立図書館 ☎ 46-2451 加悦分室 ☎ 43-0376 野田川分室 ☎ 43-0087

●開館時間 / 午前 10時〜午後 6時 ●休館日 / 毎週月曜 (本館・加悦分室)、毎月最終木曜 (共通)

6/16 - 7/15

番組ガイド

制作番組放送予定をお知らせします。通常放送は、午後8時から、再放送は、午後9時、午後10時、翌日の午前9時、午後0時、午後15分、午後3時です。

6/16 - 7/15

番組ガイド

制作番組放送予定をお知らせします。通常放送は、午後8時から。再放送は、午後9時、午後10時、翌日の午前9時、午後0時15分、午後3時です。

20日	制作番組総集編 (前週に放送した制作番組をまとめて放送)	21日	知っとコーナー、ふるさと情報(ふるさと瓦版総集編)	22日	9:30【中継】町議会6月定例会(条例・補正) 20:00NHKビデオきょうの健康「B型肝炎の最新情報」	23日	9:30【中継】町議会6月定例会(条例・補正) 20:00【録画】町議会6月定例会(一般質問)	24日	20:00【録画】町議会6月定例会(一般質問)	25日	20:00【録画】町議会6月定例会(一般質問)	26日	20:00【録画】町議会6月定例会(一般質問)
27日	制作番組総集編 (議会放送除く)	28日	知っとコーナー、ふるさと情報(ふるさと瓦版総集編)	29日	20:00【録画】町議会6月定例会(条例・補正) 20:00【録画】町議会6月定例会(条例・補正)	30日	20:00【録画】町議会6月定例会(条例・補正)	7/1日	20:00【録画】町議会6月定例会(条例・補正)	2日	20:00【録画】町議会6月定例会(条例・補正)	3日	20:00【録画】町議会6月定例会(条例・補正)
4日	20:00【録画】町議会6月定例会(条例・補正)	5日	知っとコーナー、ふるさと情報(6/29制作番組「与謝野町消防団操法大会」再放送)	6日	20:00【録画】町議会6月定例会(条例・補正)	7日	20:00【録画】町議会6月定例会(条例・補正)	8日	20:00【録画】町議会6月定例会(条例・補正)	9日	20:00月イチ☆きょうと府	10日	20:00懐かしのメロディ(住民提供番組)
11日	制作番組総集編 (議会放送除く)	12日	知っとコーナー、ふるさと情報、ロッキンクの世界一周(ふるさと瓦版総集編)	13日	20:007月のTANGO(最新ヒット曲)	14日	20:00第92回全国高校野球選手権京都大会(加悦谷高校出場試合)	15日	20:00テレビ交遊教室「夏の交通安全防止市民運動」	ダビングサービス 放送した番組を1番組当たり300円でダビングします。各行舎の窓口で受け付けていますのでご利用ください。 ※DVD等のメディアは各自で準備し持参してください。			



本格運用を開始しました。

6/1 から



放送ボタンが押されると、中継の画面がテレビに映し出されました

完成記念式典を 生中継で放送

6月の本格運用開始を目前に控えた5月21日、「与謝野町有線テレビ拡張事業完成記念式典」が野田川わーいばるで行われ、この模様は有線テレビで生中継されました。

式典には、国や京都府、事業関係者ら約100人が出席。式典の開始に先立ち、太田貴美町長と井田義之議長が壇上に上がり、「開通ボタン」を押すと、会場内に設置されたテレビ画面に式典の中継映像が映し出されました。

太田町長は「完成したネットワークという樹の枝

に幸せを実らせ、その実を町民の皆さんに収穫してもらえよう活用を図りたい」とあいさつ。続いて設計業者と施工業者に感謝状が贈呈され、来賓から祝辞が述べられました。

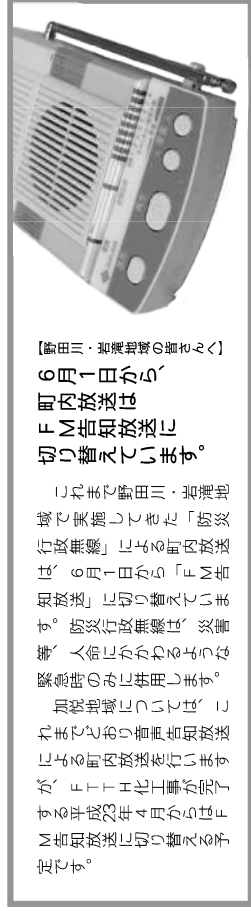
最後に、「ココロをつなぐ光の架け橋」と題した記念制作ビデオがスクリーンに映し出され、今回の事業内容と今後の事業展開が紹介されました。

6月1日から 利用料等を課金

本格運用開始に伴い、使用料を課金します。また、プラン変更には手数料(500円)がかかりますので、ご注意ください。



上ノ栲協和エグジクティブ支店と地域ネットワーク設計棟に感謝状を贈呈。下ノ会場入り口では詳細な案内により光ファイバーなどが展示されました



6月1日から、 町内放送は F M告知放送に 切り替えています。

これまで野田川・高滝地域で実施してきた「防災行政無線」による町内放送は、6月1日から「FM告知放送」に切り替えています。防災行政無線は、災害発生、人命にかかわるような緊急時のみに併用します。

加悦地域については、これまでおくりこしFM告知放送による町内放送を行います。が、F T T H化工事が完了する平成30年4月からはFM告知放送に切り替える予定です。

シリーズ⑧
男女共同参画

子供の参観日

6/23(水)～6/29(水)

男女共同参画週間

「話そう、動こう、育てよう、いっしょに。」
(平成22年度小・中・高男女共同参画週間推進委員会)

ひと・もの・ネットワークづくり
産業振興ビジョン提出
図 商工観光課 ☎ 46-3269



与謝町産業振興ビジョン
策定委員会が平成21年から
策定に向けて取り組んでき
た「与謝町産業振興ビ
ジョン」がこのほどまとま
り、4月28日 太田貴美町
長に提出されました。

同ビジョンは、「総合計
画」の商工業や織物業、雇
用の創出分野における目標
を実現していくための詳細
な施策や方向性を示す産業
振興計画として、同委員会

により8回の会議を経て策
定されたもの。計画期間は
平成22年度から平成31年度
までの10年間です。

基本理念と行動計画

「次世代のひとづくり」
与謝町らしいものづくり」
「交流と連携のネットワー
クづくり」を基本理念とし
て掲げ、将来目標として「ひ
どが元気、まちに活力、多
彩なふれあい」で創る働く喜
びのあるまち 元気与謝
町」を目指しています。

これらを実現していく行
動プログラムとして、▽後
継者などの人材の確保・育
成▽織物業振興の取り組み
への支援▽産業振興会議
の設置▽町の知名度を高め

る取り組み▽雇用確保に
努める企業への支援▽創業
(起業) や事業転換など意
欲的取り組みへの支援▽産
業振興条例の制定の検討一
などを掲げています。

今後の展開

昨年策定された「観光振
興ビジョン」と今回の「産
業振興ビジョン」により、
商工業、観光、雇用創出な
どの計画が整い、地域活性
化に向けたまちづくりが図
れることとなります。

町では今後、このビジョ
ンに基づき、「与謝町産
業振興会議(仮称)」を立
ち上げ、住民や事業所の皆
さん、行政との連携による
産業振興を進めていきます。

合言葉は、「薬物乱用は『ダメ。ゼツタイ。』」
青少年を薬物乱用から守りましょう！
図 保健課 ☎ 43-1514

**薬物乱用世代が
広がっています**

乱用薬物に対する警戒
心や抵抗感が薄れている
だけでなく、インタ
ネットや携帯電話など配
給源の多様化により、薬
物乱用が一般の人々にも
蔓延してきています。

特に、若年層における
薬物乱用者が急増してお
り、好奇心から手を染め
てしまうケースが多くみ
られます。大麻、MDM
A等錠剤型合成麻薬は20
歳代を中心とした若年層
の乱用が顕著です。

また、違法ドラッグ(仮
法ドラッグ)の問題も深
刻です。麻薬、向精神薬
には指定されておらず、
それらに似た多量感、快
感等を高める製品で、若
年層の乱用に加え、他の
乱用薬物に手を染めてし
まう入門薬になるなど事
態は深刻となっています。

乱用薬物の特徴

「依存性」
薬物の効果が切れると

また使いたくなり、自分
の意志では止められなく
なります。また、薬物を
入手するために犯罪を起
こし、自分だけでなく家
庭の崩壊、社会生活の破
壊を招く要因となります。

「フラスコバツ」
薬物の乱用をやめ、表
面的には普通の生活に
戻ったようにみえても、
飲酒、ストレス、疲労な
どの小さなきっかけで、
幻覚、妄想などの精神異
常が再燃します。

**薬物乱用は
「ダメ。ゼツタイ。」**

薬物乱用は周囲の人か
ら誘われて好奇心や興味
本位で手を染めるケース
が多くみられます。「や
せられる」などの甘い誘
い文句や、真実い刑をエ
ス「スピード」などと
呼んで乱用薬物とはわか
らないように誘われるこ
とがあります。

薬物乱用に対する理解
を深め、絶対に手を出さ
ないという自覚が大切です。

民生委員・児童委員は 身近な相談相手です

与謝町民生児童委員協議会では、民生児童委員により
を通して民生委員・児童委員の活動を紹介します。今回
は岩滝・加悦支部で実施した活動をお知らせします。

**施設見学
加悦支部**

加悦支部では2月16日、
岩滝にある
与謝郡聴覚言
語障害センター・宮崎与謝
聴覚言語障害者地域活動支
援センター(愛称あいらぶ)
を施設見学しました。こ
の施設は平成20年12月に新
築完成したもので、聴覚障
ろうあ者の方々がいろい
ろな取り組みをされています。
その取り組みの一つが、
「喫茶手話サロン・アイラ
ブ」です。毎週火曜日の午
後1時半から2時半までの
1時間、開かれています。
豆から挽いた美味しいコー

ヒーが1杯200円
(クッキー付)で、手
話を1つ教えてもらえ
るという穴場の喫茶店
です。

委員それぞれ200
円を持ち、受付のろう
あ者の方にコーヒーか
紅茶かを聞かれ、身ぶ
りで伝えました。それ
ぞれのテーブルでコー
ヒーを飲みながら、「針
灸」の手話指導をろ
うあ者の方から学ばま
した。「見えない」「聞こえ
ない」「盲ろう者の方とのコ
ミュニケーションは、手の
平に文字を書いてお話をす
るという、委員も初めての
経験でした。

加悦支部では、研修の時
に少しずつ手話を学習して
います。皆さん明るく笑顔
でいきいきとおられる
姿に感動し、さらに手話に
関心を持ち、覚えての「あ
りがとう」の手話で感謝の
気持ちを伝えました。

喫茶手話サロンの皆さん
は、地域の皆さんが喫茶に
来て、交流できることを楽
しみにしておられます。

**子育て支援
岩滝支部**

岩滝支部は、
平成21年度
子育て支援
事業として「子
育てふれあい広場」に参加
しました。

子育てふれあい広場は、
平成10年に旧岩滝町中央公
民館で開設されて以来、現
在の知覚館に引き継がれ12
年継続している取り組みで
す。与謝町全域に広が
り3年目「縦・横・斜め
の3つのふれあいを大切
に」という主催者側の思い
と、「保護者同士、より広
くより多くふれあいができ
る工夫」を実践してこれ

たスタッフの皆さんの努力
が、このような発展につな
がっています。

私たちは、補助員として
の役割を担当しました。保
護者のみが受講する「救急
講座」や「おかし作り」の
時間は別室で子どもたち
を遊ばせたり、「子育て交
流会」では保護者同士がグ
ループに分かれ日頃の悩
みや疑問などを話し合う
会場内で子どもたちのお世
話をしました。最終日は、
私たちの主催で「親子リス
ム体操」を行い、参加の難
しい乳児をあずかり、保護
者の手助けをしました。

今回、このような活
動を通じて、地域の子
どもたちや子育て家庭
を巡る状況をたくさん
耳にすることができ、
地域の身近な相談者
として役割を果たす大切
さを実感しました。

今後も「子どもと子
育て家庭の立場に立っ
た」見守り支援合う地
域づくりの支援を充実
させていきたいと思
います。

与謝野町議会 正副議長が決定！

4月27日に行われた与謝野町議会4月臨時会において、
正副議長選挙が行われ、議長に井田義之氏(右)が、副議長
に谷口忠弘氏(加悦)が選ばれました。任期は、申し合わせに
より2年間です。



井田義之議長(左)
●日野田川町議を4
期務め、議長等を歴任。
平成18年と与謝野町
議に初当選、2期目

谷口忠弘副議長(右)
●日加悦町議を1期務
め、平成18年と与謝
野町議に初当選、2期目

今月の納期
6/30(木)まで
町 府 民 税 1 期
国民健康保険税 1 期
夜間納税窓口
6/28(月)29(火)30(水)
いづれも午後8時まで
野田川庁舎(秘書課)
※納付書をご持参ください

与謝野町役場
☎ 46-3001 (代表)
岩浦地域振興課
☎ 46-3002
総務課
☎ 46-3003
46-3004(消防安全課)
企画財政課
☎ 46-3084
46-3085(福祉・介護)
建設課
☎ 46-3267
46-3268
商工観光課
☎ 46-3269
会社室
☎ 46-3007

野田川庁舎
☎ 44-2081 (代表)
野田川地域振興課
☎ 44-2082
住民環境課
☎ 44-2083
44-2084
税務課
☎ 44-2084
水道課
☎ 44-2085
下水道課
☎ 44-2086

加納庁舎
☎ 43-1511 (代表)
加納地域振興課
☎ 43-1512
福祉課
☎ 43-1513
保健課
☎ 43-1514
農林課
☎ 43-2191
議事事務局
☎ 43-0215
教育委員会 教育総務課
☎ 43-2192
教育委員会 教育推進課
☎ 43-2193

みんなで障害者の自立支援を推進します

与謝野町地域自立支援協議会

☎ 43-1513 福祉課

町では、地域における障害者の自立生活を支援するため、相談支援事業を実施するとともに、医療・保健・福祉・教育・就労などの関係機関のネットワークの構築を推進する中核機関として、与謝野町地域自立支援協議会を設置しています。

さまざまな角度から支援方法を検討

自立支援協議会は、3つの所属グループで構成されています。平成21年度は、全体会を3回、各専門部会をそれぞれ10、11回、運営会議は12回開催しました。

【全体会】

障害福祉に関係する行政関係者・相談員・関係団体・サービス提供法人、

相談支援事業者などで、専門部会グループで協議を行った内容を協議・検討しています。

【専門部会】

障害者福祉支援の課題を明らかにし、情報共有、検討集約する部会。『療育部会』『地域生活活動支援部会』『就労支援部会』があります。

【運営会議(事務局会議)】

町・相談支援事業者による運営・調整会議。

これまでの取り組み

自立支援協議会では、▽障害者の地域での自立生活を支援する体制の整備▽ケアマネジメントの推進と困難事例への支援体制の整備▽地域における相談支援ネットワークの構築などを目指しています。



昨年の就労支援セミナーの様子

具体的には、ライフス・テリジの切り目をスムーズに繋ぐための支援プログラムの検討や、職場実習奨励金支給制度の創設を提案しました。また、障害者理解に対する普及啓発やヘルパーの質・量、立場の向上についても検討しています。

会議以外の取り組みとして、夏休みなど長期休暇支援のためのアンケートや知的障害者の就労セミナー、町教育委員会とともに防災学習会なども行っています。

宝くじの助成金で備品整備

公民館備品整備

☎ 46-3084 企画財政課

地域コミュニティ活動の発展を目的に、自治総合センターの財団法人が、宝くじ助成事業収入を財源とするコミュニティ助成金を受け、算所区に公民館空調備品(写真)と集会用テント等が整備されました。

宝くじ助成事業は、皆さんが購入した宝くじを財源として、コミュニティの健全な発展を支援しています。



地域コミュニティ活動の発展を目的に、自治総合センターの財団法人が、宝くじ助成事業収入を財源とするコミュニティ助成金を受け、算所区に公民館空調備品(写真)と集会用テント等が整備されました。



新体制で心新たに交通事故ゼロを目指します！

交通安全対策委員会により

☎ 46-3003 総務課

交通指導員制度の確立に向けて

町民の皆さんを交通事故から守るため、交通安全意識の普及や啓発、交通安全対策の策定などを行う与謝野町交通安全対策委員会の委員委嘱式が4月14日、野田川庁舎で行われました。

交通安全対策委員会は、与謝野町合併後に発足してからの期4年が経過し、今期は町長から新たに諮問された交通指導員制度の確立に向けて活動することとなりました。

町長から委員へ委嘱状



委嘱状を受け取る委嘱委員(中央)

が交付された後、今年度の事業計画等について協議。今後、高齢者とそのものの交通安全に重点を置いた活動に取り組んでいきます。

交通安全を呼びかけました

春の全国交通安全運動(4月6日～15日)と交通事故死亡ゼロを目指す日(4月10日)に、交通安全対策委員会は各種団体とともに街頭で交通安全啓発を実施しました。

小中学校の通学路や、各庁舎前などの街頭に立ち、シートベルト着用や交通事故防止を呼びかけました。



与謝野町役場前で交通安全立派をする職員

交通安全対策委員 (敬称略)

- 【会長】** 矢野有規雄(愛地)
- 【副会長】** 永濱 誠彦(喜屋)
- 【司理】** 藤田 至(通江)
- 小巻 孝之(須賀)
- 羽尻 明石(延子)
- 羽尻 哲夫(後野)
- 大槻 浩巳(弓削)
- 西原 裕之(一海)
- 岡田 秀子(金屋)
- 山崎 浩明(石石)
- 吉田 光枝(明石)
- 【常任委員】**
- 豊田 嘉巳(石田)
- 谷口 伸一(立町)
- 橋本 真弘(立町)
- 飯塚 麻美子(浜町)
- 石田 一乃(岡山)
- 【野田支部】**
- 永濱 誠彦(喜屋)
- 堀井 博康(愛地)
- 倉橋 幸弘(三河内)
- 石田 純子(三河内)
- 安田 敬博(喜屋)
- 橋本 静子(喜屋)
- 鈴木 隆一(西庄)
- 田中 鈴子(西庄)
- 安貝 久子(上田)
- 伊達 英徳(上田)
- 茂籬 進(上田)
- 河邊 知己(石川)
- 金谷 壽子(石川)
- 小柳 絹子(石川)
- ※○は敬称、○は副支部長、括弧内は所属行政



「文部科学省」

来秋の国文祭に向けた取り組みを進めています

小中高生対象「俳句教室」

☎ 43-2193 教育推進課

開催まであと

506日

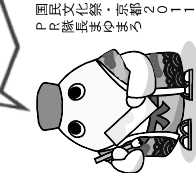
(6月10日現在)



橋立中で指導した白敷宏子さん(弓木)

来秋開催される国民文化祭・京都2011弓削無村顕彰「俳句大会」に向け、町内小中高生を対象とした「俳句教室」がこのほど始まりました。

講師は、町俳句文化振興委員会所属の俳句団体が務め、俳句への理解を深め、作句できる創作力を養います。5月11日には、橋立中学校で第1回目の俳句教室が行われ、「肩を張らずに7言に思いを込めて」という講師の指導の下、生徒たちは熱心に作句していました。



国民文化祭・京都2011 P.R. 職員 白敷宏子さん